



車内の金城学院大学

56限目

「テキスタイル材料学」

「大ヒットしたあの肌着のヒミツ？」

〔吸湿発熱繊維〕

寒くなると手放せなくなる、薄いのにとても暖かい肌着。その暖かさの秘密は「吸湿発熱繊維」という化学繊維にあります。通常、冬でも人は1日に0.6ℓ程度の水蒸気を皮膚から発散しています。水蒸気は、分子レベルで見ると水分子が動き回っている状態なのですが、この水分子が吸湿性の高い物質に吸着されて動きが止まると、その運動エネルギーが熱に変わります。この仕組みを活かし、水蒸気を吸着して熱を発生させる繊維が「吸湿発熱繊維」と呼ばれるものです。この特性は、元々ウールが持つものとして知られていましたが、それを科学的に分析し、薄い肌着に同様の仕組みを持たせたことに大ヒットの秘密があるのです。ウールなどの天然繊維には、私たちが毎日を快適に過ごせる秘密が数多く隠されており、化学繊維や繊維加工技術の開発には、その秘密が広く応用されているのです。

「快適」の仕組みを学び、より良いものづくりに活かす。それが生活環境学部 環境デザイン学科。

12/8(日)
金城学院大学+同志社女子大学
「冬のオープンキャンパス」開催!

会場 名古屋駅前「ウインクあいち」

強く、優しく。



金城学院大学